

# 館山海上技術学校マリンセミナー開催

7月23日 全海運と関東船対協協賛、総連合会協力

全国海運組合連合会と関東地区船員対策協議会が協賛、日本内航海運組合総連合会が協力する国立館山海上技術学校の夏休み恒例のマリンセミナーが7月23日、同校で(株)雄和海運代表取締役社長浦山秀大氏（熊本県海運組合副理事長）を講師に迎えて開催された。

この行事は夏休み期間中に毎年、同校が生徒の保護者に内航海運企業関係者から、一般に知られていない内航海運の現状や、船員生活・労働環境などを講演してもらうもの。このセミナーでは毎年、講演会の他に生徒の保護者が同校に泊まりがけで、練習船による海上実習を始め各種実習、授業などを体験しており、これを通じて生徒との親子関係を深め合い、日頃接することの少ない保護者同士の親睦が図れると好評だったが、新型コロナウイルス蔓延防止対策で、昨年から日帰りのリモート会議形式による講演会だけが開催されている。

セミナーは橋本豊同校校長と榎本成男関東船対協会長（関東沿海海運組合理事長、(株)榎本回漕店社長）の挨拶で幕を開け、「内航海運と内航船員の仕事」と題した浦山氏の講演では、①内航海運と内航船舶の紹介 ②船員の職場環境や就労実態 ③船員の採用、待遇、人材育成などがわかりやすく説明され、参集した20名の保護者達が熱心に耳を傾け、その後は活発な質疑応答が交わされた。

